



校長室だより 11号

中島 悟

【キャッチフレーズ】

未来に残そう 伝え築いた 振徳商業
目指せ 三種目 日本一 !

【今週の行事】 5月27日(木) 閉校行事等第6回実行委員会
29日(土) 高校総体開会式(口蹄疫問題により中止)
高校総体

【部活動紹介】 軟式庭球部、 ハンドボール部

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1 軟式庭球部 | 旧顧問 鈴木英夫 | 20周年記念誌より抜粋 |
| 2 男子ソフトテニス部 | 投稿者不明 | 30周年記念誌より抜粋 |
| 3 女子ソフトテニス部 | 投稿者不明 | 30周年記念誌より抜粋 |
| 3 ハンドボール部 | 旧顧問 八十島寛、原口忠夫 | 20周年記念誌より抜粋 |

軟式庭球部(原文) 旧顧問 鈴木英夫

振徳商業の軟式庭球部は日南振徳商業高校が昭和45年に日南高校の商業科から分離独立した年の翌々年、すなわち、昭和47年に創設されました。初代顧問西園先生が指導されていたようですが、学校創設のあわただしい中、女子部員を中心に活動していたようです。その後、昭和53年今鶴先生、昭和55年上田先生と引き継がれましたが、この頃から女子の軟式庭球部顧問になられた山口先生の熱心な指導により女子が強くなるにしたがって男子も次第に力をつけてきました。昭和56年杉本先生が顧問になられ、毎日生徒と一緒に、おそくまで指導されました。

結果は次の通りです。

- | | | | |
|----------|--------|-----|------------|
| 昭和56年 6月 | 総合体育大会 | 団体戦 | ベスト8 |
| | | 個人戦 | 宮元、藤井組 第5位 |
| 昭和56年11月 | 新人大会 | 団体戦 | ベスト3 |
| 昭和59年11月 | 新人大会 | 団体戦 | ベスト8 |
| 昭和60年 6月 | 総合体育大会 | 団体戦 | ベスト8 |
| 昭和62年 | 選抜大会 | 団体戦 | ベスト8 |

昭和64年4月より私が顧問を引き受けることになり現在に至っています。現在の部員数は3年生3名、2年生6名計9名の部員で練習しています。夏は7時まで、冬は6時まで部長平原正夫、副部長淵脇勝、近藤勇次の新3年生を中心に自主的な練習を行っています。

成績の方は、まだこれといった結果を残していませんが、昭和64年の県南6校選手権大会で、平原、淵脇組が個人戦で優勝しました。部活動はもちろん優勝を目標に努力

しなければなりません、練習を通して協調性と忍耐力を養い、礼儀正しい学校生活をすごして欲しいと考えています。卒業生の皆さん、時には学校に顔を出して、後輩の指導をしてください。

男子ソフトテニス部 (原文)

僕達男子ソフトテニス部は、黒木章宏先生の指導のもと、部員12名で毎日遅くなるまで練習を頑張っています。昨年の新人戦では準優勝、県選抜予選では見事優勝し、九州大会に出場しました。今年の高校総体では、第1シードでしたが3位に終わってしまいました。この悔しさを次に生かしていきたいと思っています。これからは、まず団結力で県1位を目指したいです。そして来年の高校総体では必ず優勝したいと思っています。

女子ソフトテニス部 (原文)

私達は、1年8名、2年5名、3年6名で毎日の練習に取り組んでいます。先輩方の戦績は、何度となく県大会で優勝していることを、各種大会のプログラムや部室の壁から知ることができますので、県下No.1を目標に頑張りたいと思います。本校創立30周年を生徒として迎えることができ、光栄に思うと同時に、今後入学する後輩達の為にもこの伝統あるテニス部を益々繁栄させていきたいと思っています。

ハンドボール部 (原文) 旧顧問 八十島 寛 原口 忠夫

ハンドボール部が産声をあげたのは昭和46年開校2年目にであったと聞く。当時の顧問は新採用の数学担当の中村(利)先生であった。中村先生はハンドボールが専門ということで部顧問となられ本校ハンドボールの歴史の第1ページが始まったのである。それから7年間ハンドボール部の基礎を作っていただいたと聞く、その後、佐藤、林、宮元、白川、渡辺、小東、鈴木(英)先生方の努力によって今日に至っている。当時は現在のグラウンドのように整備されていず、生徒達は体育の授業時に草取り、石拾い等グラウンド整備に大変であったように聞いている。

そんな状況の折、中村先生指導の基に礼儀作法、声の出し方、部規則の設置等の仕事から部員といっしょに取り組まれた。生徒も専門の指導者ということで意欲を持って練習に励んだ。中村先生の後に佐藤公明先生が引き継がれ若さあふれる指導を展開されたと聞く。ハンドボール部は不思議と新任教諭が部を引き継ぐことになっているようだ。その度に顧問の若さあふれる指導と共に顧問のカラーが出ているとの事であった。現在部員数12名で高木キャプテンのもとに毎日規則正しい練習を行っている。真剣に部活動に取り組んでいる12名であるけれども残念なのは顧問がハンドボールをまったく知らず技術的な指導がまったく出来ないのも部員に本当に申し訳ないと思っている。しかし生徒達は部活動の何たるかを良く知っておりもくもくと練習に励んでいる。伝統あるハンドボール部を一步でも前進させようと努力している。